

科目名：介護過程Ⅲ

対象クラス(専攻/コース)：2学年 介護福祉学科

単位数：1

担当教員名：福島岳志

授業形態：講義・演習（全15回）

教材：最新介護福祉士養成講座9 介護過程 中央法規出版株式会社

※配布資料・スマートフォン・タブレット端末なども活用する。

教員の実務経験：介護保険施設・在宅介護事業所にて介護職（介護福祉士）として10年間経験

授業内容（実務経験を活かした指導内容）：

介護・教育現場において多岐にわたる介護サービス提供・事例検討などを行ってきた経験を活かし、下記の学習目的が達成できるように授業を実施していく。

学習目的 本人の望む生活の実現に向けて、生活課題の分析を行い、根拠に基づく介護実践を伴う課題解決の思考過程を習得する学習とする。

授業内容 ①介護サービス計画や協働する他の専門職のケア計画と個別介護計画との関係性、チームとして介護過程を展開することの意義や方法を理解する内容とする。
②個別の事例を通じて、対象者の状態や状況に応じた介護過程の展開につながる内容とする。

到達目標：（重要）本学習は「介護過程Ⅰ・Ⅱ」の内容を統合する内容とする。

- (1) 介護福祉職がチームとして介護過程を展開する意義・目的について理解する。
- (2) カンファレンス・サービス担当者会議の意義・目的について理解する。
- (3) 多職種連携における介護過程展開の意義について理解する。
- (4) 介護サービス計画（ケアプラン）と訪問介護計画、サービス等利用計画と個別介護計画の関係について理解する。
- (5) 対象者の状態・状況に応じた介護過程の展開・事例研究が行える能力を習得する。

評価方法／基準：

授業態度（出欠席・姿勢・提出物・使用物品の準備など）、確認テスト・総まとめ試験などの結果を総合的に評価する。（総まとめ試験50% 確認テスト10% 授業態度・発表40%）

※総まとめ試験は60点以上を合格とする。（国家試験合格の確実性を高める為には、80%以上の正答率が必要であり常に80点以上を目標に学習に取り組むこと）

その他、注意事項：

授業を円滑に行うと共に質の高い学習とするために、以下の点について留意すること。

1、事前学習

毎回の授業前に、授業範囲のページに目を通しておくこと。課題が出た場合は課題を行っておくこと。

2、事後学習

毎回の授業内容・確認テストを再確認（復習）し、理解を深めておくこと。

課題やレポートの提出を指示した場合は、作成し指定期間までに提出すること。

関連する主な検定試験：介護福祉士国家試験

キーワード：介護過程、ケアマネジメント、チームアプローチ、利用者、生活、介護福祉士の役割、事例検討・研究、プレゼンテーション

<授業計画>

第1週	介護過程とケアマネジメントの関係性1（テキストP136～141）	講義
第2週	介護過程とケアマネジメントの関係性2（テキストP141～146）	講義・確認テスト
第3週	チームアプローチにおける介護福祉士の役割1（テキストP148～153）	講義
第4週	チームアプローチにおける介護福祉士の役割2（テキストP153～156）	講義・確認テスト
第5週	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開1（テキストP160～163）	講義
第6週	利用者のさまざまな生活と介護過程の展開2（テキストP160～163） ※介護過程の展開に関わる内容確認	講義・確認テスト
第7週	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開1（テキストP164～182）	講義
第8週	事例で考える利用者の生活と介護過程の展開2（テキストP183～207）	講義・確認テスト
第9週	プレゼンテーションの意義・目的	講義
第10週	事例研究1	演習
第11週	事例研究2	演習
第12週	事例研究3	演習
第13週	事例研究4	演習
第14週	研究発表	演習
第15週	総まとめ（第1週～9週までの内容）	試験・解説

（注釈）授業計画については、学生の知識の定着・習熟度などにより変更する場合があります。